



東陽病院
内科医師
鈴木 健士

横芝町の皆さんこんには。はじめじめした梅雨の中なかと思ひますが、元気にお過ごしでしょうか。今回は高血圧の薬についてお話ししたいと思います。

高血圧の患者さんに対しまずは塩分制限をして頂くわけですが、それでも血圧が下がらない時にはお薬を飲んでもらうことになります。私達が高血圧の患者さんにお出しする薬にはいくつかの種類があります。

一つは利尿剤です。これは尿を多く出すことで血管の中の圧力を下げます。薬は腎臓の働きがおちてむくみがある人などにも使われます。

ほかに血管を拡張させて血圧を下げる薬もあります。細い血管がギュッとしまっていなければその血管の中の圧力は高くなっていますから、その血管をゆるめるようにひらいてあげる薬です。

高血圧の薬について

そのほかには自律神経などを通して、心臓の亢進状態(たかぶつて)いる状態)を抑える薬なども用いられます。またこれらの作用をあわせもった薬もあります。これらを組み合わせたりしながら私達は患者さんにお出ししています。

時々患者さんの中に薬はこわいから飲みたくないといつおっしゃる方がいらっしゃいます。薬というものは血圧を下げるという強い作用をもっていますから当然副作用も全くないわけではありません。

たとえば血圧の薬では顔がほてったり、咳が出るなどの副作用がみられることがあります。このことがあります。また喘息の人や心不全の人は飲んではいけない薬もあります。(当然そういう人でも飲んでよい薬もたくさんあります)ですから、同じ高血圧だからといって他人の薬を医師に無断で飲んだりするのはやめしてください。

こう話すとなんだか薬が信じられなくなつてこわくなつた方

も多いかも知れませんね。しかし薬というのは決められた量をきちんと飲んでいるかぎりは、副作用の出る確率はそろそろ低いといえると思います。当然担当医も副作用がこわいことは十分承知していますから、細心の注意を

確率は非常に低いといえると思います。しかし、ふだんは、副作用が起きたりは、危険な副作用が起きる確率は非常に低いといえると思います。当然担当医も副作用がこわいことは十分承知していますから、細心の注意を

しているはずです。また薬をこわがって飲まないでいることのこわさも考えてください。高血圧による合併症がおきてしまってからでは遅いのです。いつも担当の医師とよく話していれば事故は未然に防げるものです。必要な治療までこわがって逃げてしまふのもこわいことだと思います。

アリは砂糖やお菓子類、ハムなどの動物性食品が好物です。家中にえさとなる食品を見つけると、あつという間に侵入します。そして、えさ場と巣穴を行列しながら往復はじめます。アリが行列を組めるのは、道するべとして分泌物を出しているからです。この行列を分断すれば、家の侵入を防げます。

暮らしのワントピア

アリの撃退方法

殺虫剤や粘着剤で退治

アリは、童話では

働き者の代表として、
「尊敬」されていま

す。しかし、ふだんの生活では、家の中

に入つて食品にたかり、植木鉢に巣くつて植木を枯らしたりする「困り者」の一面をもつています。いつの間にか部屋に上がり込んで、寝ている乳幼児の口元についたお乳に群がつてはたいへんです。



周囲に、市販の巣退治用の殺虫剤を散布します。周囲に市販の毒えさをまくと、より効果的です。さらに、市販の四塩化炭素液(えりの汚れ落としに使う透明な液)を、巣穴に20~30ミリリットル流し込めば、四塩化炭素液が気化して巣穴の中のアリは全滅し、退治できます。

巣穴に熱湯を流し込むのは、簡単なアリの退治方法ですが、そばに植木などがあると根を傷める原因にもなるので、注意が必要です。植木鉢に巣くつたときは、深いバケツなどの容器に水を入れ、植木鉢を浸します。三十分ぐらいしてアリが浮いてきたら、水とともに流します。

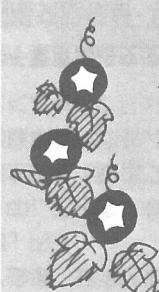
この間に巣穴を探しましよう。

まいましたが、脱線ついでに次回は薬害についてお話ししたいと思います。

今日は少し話が脱線してしまいましたが、脱線ついでに次回は薬害についてお話ししたいと思います。

ほかに血管を拡張させて血圧を下げる薬もあります。細い血管がギュッとしまっていなければその血管の中の圧力は高くなっていますから、その血管をゆるめるようにひらいてあげる薬です。

こう話すとなんだか薬が信じられなくなつてこわくなつた方



広報よこしば'95.7.1

そのほかには自律神経などを通して、心臓の亢進状態(たかぶつて)いる状態)を抑える薬なども用いられます。またこれらの作用をあわせもった薬もあります。これらを組み合わせたりしながら私達は患者さんにお出ししています。

時々患者さんの中に薬はこわいから飲みたくないといつおっしゃる方がいらっしゃいます。薬というものは血圧を下げるという強い作用をもっていますから、副作用も全くないわけではありません。

たとえば血圧の薬では顔がほてったり、咳が出るなどの副作用がみられることがあります。このことがあります。また喘息の人や心不全の人は飲んではいけない薬もあります。(当然そういう人でも飲んでよい薬もたくさんあります)ですから、同じ高血圧だからといって他人の薬を医師に無断で飲んだりするのはやめしてください。

こう話すとなんだか薬が信じられなくなつてこわくなつた方